

# いわちゃん ポスト

岩井やすのりの県政かわら版

千葉県議会議員



# 岩井やすのり

**略歴** 1970年(昭和45年)生まれ49歳  
専修大卒、早稲田大学院 政治学研究科修了

自らの生い立ちから、障害者の困窮する生活ぶりを多く目の当たりにしてきたことが、政治を目指すきっかけに。県商工労働常任委員会 副委員長

事務所連絡先 TEL: 0476-36-7799

HP: <http://www.iwai-y.jp> メール: [mail@iwai-y.jp](mailto:mail@iwai-y.jp)

印旛郡栄町安食台 2-26-23(栄町役場前大山ビル 2F)

## カワウ被害に住民が悲鳴 印西・花の丘公園

県立北総花の丘公園内にある戸神調整池に生息するカワウ。近年は個体数が増え続け、周辺住宅街での糞や鳴き声による生活被害が深刻な状況です。

### ●戸神調整池に県内個体数の3割が生息

カワウとは、翼長30cmを超える大型の鳥類。一時期は個体数が減少したため一般保護生物に指定されているものの、1990年代後半ごろより全国的に増加傾向に転じています。

以前より、千葉NT中央駅からほど近い県立北総花の丘公園にてカワウの生息が確認されてきましたが、近年は特に増加傾向にあります。2012年に確認された1,888羽は、県内で6,000~7,000羽といわれる個体数の3割にも相当。また、以前はカワウがねぐらとしてのみ利用していたものの、2010年の春期からは公園内での営巣も確認されるようになっており、現在は相当数に上っていると見られます。

### ●近隣自治会ではカワウ対策委員会も設置

問題となっているのは、糞などによる生活被害です。カワウの糞には多量のリン酸が含まれているため、公園内の樹木の多くが枯死してしまい、時期によっては辺り一面が真っ白になってしまうほど。糞は生臭いような独特の悪臭を放ち、水質や土壌、景観の悪化を招いているのです。また、「グワワ」「ゲレレ」という鳴き声騒音も深刻で、住民からはその音を耳にす

るだけで陰うつな気分になるとの声も上がります。接する地区の自治会ではカワウ被害対策の委員会を設け、例年、対策予算を計上しており、近隣住民にとってどれだけ切実な問題であるのかがわかります。



糞被害で真っ白となった樹木

### ●カワウ追い払いにドローンなど新技術の活用を

しかし、カワウの被害対策を行うのは容易ではありません。河川敷やダム周辺などに生息するカワウが漁業被害をもたらす、捕獲の対象となることがある一方、糞等の生活被害を理由とした捕獲が許可されることはなく、「追い払い」を行うしか手立てがないのです。

現在、県が行っている追い払い対策は、営巣を防ぐための木の伐採(80万円/年)と獣害防除用の「リンロンテープ」の設置(50万円/年)。しかし、前者の予算で伐採できるのは年数本程度と極めて少なく、後者についても技術的な問題から調整池の水辺の低い箇所には張っているというのが現状で、木の枝の高い位置に営巣するカワウにはほとんど効果がありません。

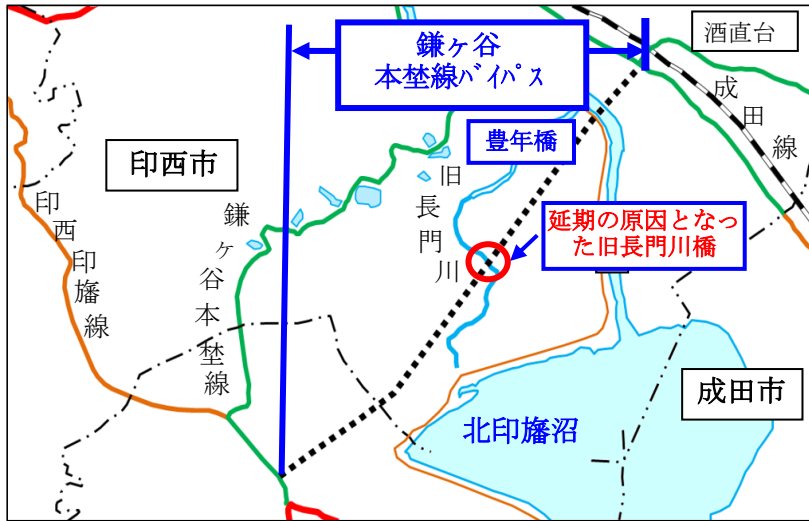
県に求めているのは、カワウ追い払い技術の研究と抜本対策のための予算拡充。ドローンを活用した高所へのリンロンテープの設置や可搬ポンプ等を使った放水による巣落とし等、有効な追い払い技術の確立が必要です。また、予算が限られる年度内は秋の巣作り前の追い払いに注力する一方、来年度に徹底対策を行うための数千万円規模の予算確保が求められます。こうした点について、地元自治会とともに県への働きかけを強めているところです。

### 戸神調整池のカワウ生息数

	2006年	2008年	2010年	2012年
生息数	1,716	736	1,072	1,888
営巣数	-	-	23	46

千葉県カワウ生息状況等調査結果による

## 鎌ヶ谷本埜線バイパスの開通、21年度に延期



千葉NT地区から栄町、成田、茨城方面へのアクセス向上が期待される県道鎌ヶ谷本埜線バイパス事業。印西市萩原地先から栄町安食までの約4.5kmの区間について、2020年春の開通が予定されていましたが、県はこれを「2021年上半期」へと修正し、1年余り開通時期が遅れることを明らかにしました。

### ●1年余りの延期、旧長門川橋設置箇所の軟弱地盤が原因

県は道路予定地の確保ができたところから盛土工事等を進める一方、老朽化が進む豊年橋の架け換え工事も実施。今年度は最終段階となる橋梁上部工に入る見込みとなっていました。



問題となったのは旧長門川橋の架橋工事。架橋とはいえ、実際は「ボックスカルバート」と呼ばれるコンクリート製の箱を設置する工事になるわけですが、その設置箇所の地盤が想定以上に軟弱であったため、地盤改良工事に1年程度の期間が必要となったものです。同バイパス事業の完成は地元地域からの期待が特に大きく、改めて一刻も早い開通を求めています。



## 自民党入党についてのご報告

日頃よりご支援いただいている方々、「いわちゃんポスト」をご覧いただいている皆様に、自民党に入党したことについてご報告いたします。

### ●県議としての職責を果たしていきたい

自民党への入党が決定したのはこの4月末。ゴールデンウィーク明け、初めて自民党会派に合流したのは5/8でしたが、早速出席することとなったのは「児童虐待防止対策PT(プロジェクトチーム)」の会合です。ここで、野田市で発生した児童虐待死事件を契機に、自民党として県に児童相談所の体制強化等の対策を求めていることを知ることになります。これまで無所属の立場で活動してきましたが、こういった県の重要施策の設計に参画することはできませんでした。そもそも会合の存在すら知らされていなかったわけですから。

私が自民党入りを願った理由はただ一つ、県議会議員としてその職責を果たせるようになることです。住民目線の行政が実現されるよう県執行部と議論を交わすこと、また自治体や住民の声が県政へ反映されるよう地元地域や県政全般に関わる課題解決に参画することで、有権者からの負託に応えたいと思います。

### ●自らの政治姿勢・信条に変わりなし

一方で、自身の県議会議員としての姿勢が変わりはありません。毎月の「いわちゃんポスト」の発行と朝の駅頭活動を続けながら、自らの政治信条である「弱い立場にある方々に寄り添った政治の実現」のため、引き続き汗を流してまいります。